



# 株主通信

第117期 中間報告書

2013.4.1 >>>> 2013.9.30

東洋鋼鋅株式会社

# 鉄から広がる無限大“∞”

当社の製品は私たちの暮らしの身近なところで活躍しています。

“鉄”とともに歩み続けてきた東洋鋼鈑はこれまでさまざまな製品を世に送り出してきました。今日ではその伝統で培った、圧延、表面処理、ラミネートなどの技術をもとに“鉄”から“非鉄”や“樹脂”へと自らのフィールドを拡大しています。



日本で民間初のぶりきメーカー

## その他材料

- 梱包資材用帯鋼
- 機械器具
- 硬質合金



バルブ自動開閉器(ベistolク)

## 缶用材料

- ラミネート鋼板
- ぶりき
- ティンフリースチール



食缶・インキ缶(ぶりき)

## 電気・電子部品材料 自動車・機械部品材料

- ニッケルめっき鋼板
- 電気垂鉛めっき鋼板
- 冷延鋼板



ハイブリッドカー用電池部品(角孔芯体材)

## 機能材料

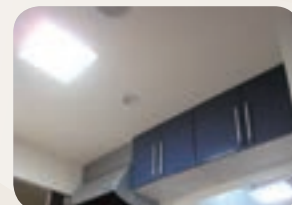
- 磁気ディスク用アルミ基板
- 光学用機能フィルム



液晶テレビ、スマートフォン向けフィルム  
(光学用機能フィルム)

## 建築・家電用材料

- 樹脂化粧鋼板
- 銀鏡めっき金属板



太陽光採光システム『どこでも光窓』  
(銀鏡めっき金属板)

# 新中期経営計画は堅調なスタート 光学用機能フィルムに大きな期待



代表取締役社長

## 田中厚夫

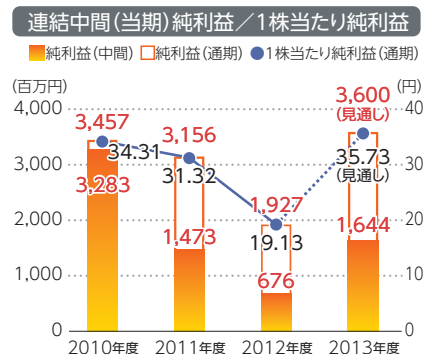
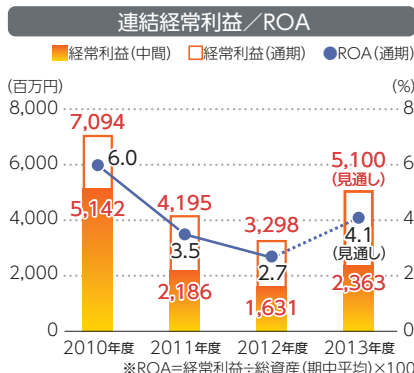
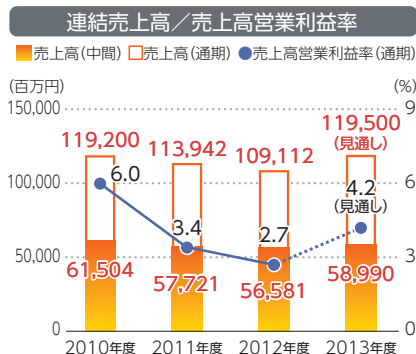
第117期中間報告書をお届けするにあたり、  
代表取締役社長 田中厚夫へのインタビューを通して  
当グループの現状と今後の動向をご説明いたします。

**Q** 当中間期の経営成績について  
ご解説ください。

**A** 新中期経営計画のスタートとしては、  
一定の成績を残すことができました。

国内景況には改善の兆しが見られるようになってきたものの、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いています。鉄鋼業界では建設向けが好調であったほか、産業機械や自動車向けでも持ち直しの動きが見られましたが、アジアでの需給緩和や新興国経済の減速の影響などから、全体としては引き続き厳しい状況が続きました。

このような環境の中、当中間期の連結経営成績は売上高が589億90百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益23億4百万円(前年同期比48.0%増)、経常利益23億63百万円(前年同期比44.9%増)、中間純利益16億44百万円



# トップインタビュー

(前年同期比143.2%増)となり、各段階の利益が大幅に増加しました。これは前中間期の利益水準が低かったことによりですが、各事業とも収益が改善傾向にあることは確かです。4月にスタートした新中期経営計画は順調な滑り出しであったと捉えています。セグメント別には、主力の鋼板関連事業は減収増益、機能材料関連事業は増収増益、その他事業は減収減益となりました。

**Q** 新中期経営計画の進捗状況と  
通期業績予想についてお聞かせください。

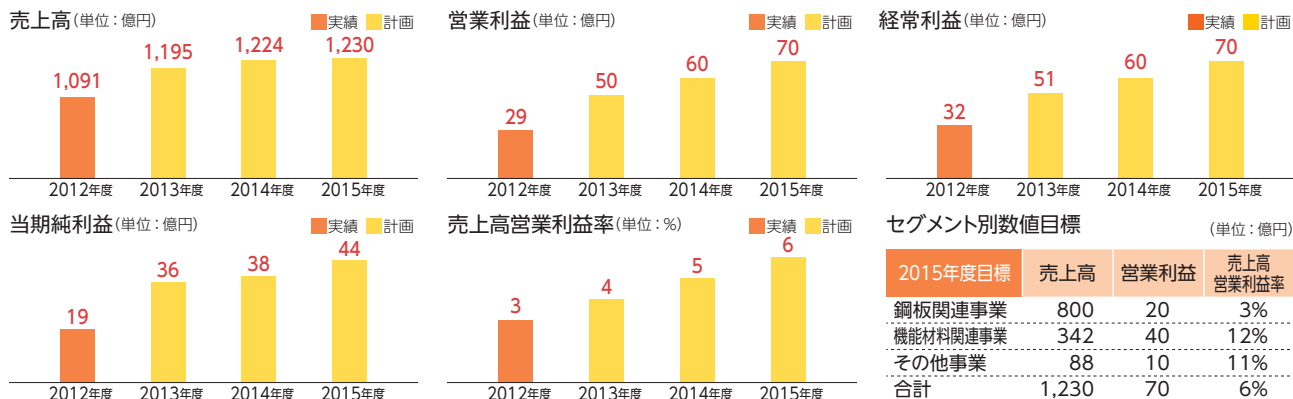
**A** 機能材料が成長。  
計画初年度の目標数値は達成の見込み。

4月にスタートした新中期経営計画「TK WORKS Beginning」は2016年3月期までの3ヶ年計画です。成長著しい機能材料関連事業を牽引役として、鋼板関連事業の収益基盤の強化と海外展開、DNAチップなど新規事業の育成を図っていきます。

牽引役として期待している機能材料関連事業は好調です。HDD(ハードディスクドライブ)の基幹部品である磁気ディスク用アルミ基板は、データセンター向けなどの高付加価値製品に採用される事例が増え、収益性も向上してきました。加えて、フラットパネルディスプレイ向けの光学用機能フィルムの品質優位性が広く認められ、液晶テレビやタブレット、スマートフォンなどへの採用が進んでいます。現在、生産性の改善に向け生産技術の開発を進めており、来春には生産ラインの増強も予定しています。

一方、主力の鋼板関連事業の国内市場は縮小傾向にあり、厳しい事業環境が続いています。引き続き収益力強化に向けて一層の原価低減に努めるとともに、新規用途の開発や海外市場の開拓を図らなければなりません。海外生産については、トルコ共和国において精力的に詳細検討を進めています。その他事業では、現在中心となっている機械関連製品について、お客様のニーズに合わせて提供するビジネススタイルを変更し、各々の製品を連関させ提供する

## TK WORKS Beginning 3ヶ年損益目標(連結)



エンジニアリング事業として、国内のみならず海外へも展開していく考えです。

通期の連結業績については、売上高1,195億円(前期比9.5%増)、営業利益50億円(前期比68.6%増)、経常利益51億円(前期比54.6%増)、当期純利益36億円(前期比86.8%増)と予想しています。

**Q** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 組織をさらに活性化させ、一層の成長につなげて参ります。

当中間期の配当金につきましては、前年同期と同額の1株当たり4円とさせていただきます。期末配当金についても同額を予定しております。

新中期経営計画は順調なスタートを切ることができましたが、より一層の成長を遂げるためには、まだまだ社内の意識改革が必要だと思っております。積極的なローテーションに



より多くの社員に現場感覚や国際感覚を身につけさせ、組織をさらに活性化させて参ります。

株主の皆様をはじめステークホルダーの皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## TK WORKS Beginning 事業戦略

### 事業戦略

既存事業の  
基盤強化

グローバル市場への  
積極的参入

新規事業の  
創出

### 鋼板関連事業

- 生産プロセスの改革による更なる原価率の低減
- マーケティング活動を強化し、海外市場を積極的に開拓
- 固有技術の集積化を図り、新規製品を具現化

### 各セグメント別の戦略

#### 機能材料関連事業

##### 磁気ディスク事業

- 省プロセス化技術開発による生産量拡大と原価率低減
- 顧客との戦略的アライアンス構築による市場シェア拡大

##### フィルム事業

- ディスプレイ向け光学フィルム事業の拡大
- フィルム高付加価値化による事業領域拡大

#### その他事業

##### 機械事業

- 新エネルギー関連分野への新規展開
- エンジニアリング事業の立上げ

# その他事業

当社の「その他事業」では、梱包資材用帯鋼、機械器具、硬質合金などの製造販売を行っております。今回は関係会社の鋼板工業株式会社が手がける「自動結束機」、「バルブ自動開閉器〈ベストルク〉」、「表面改質 PHコーティング」をご紹介します。



自動結束機



バルブ自動開閉器〈ベストルク〉



表面改質 PHコーティング

## 自動結束機

重量物のハイテンション結束を効率良く安全に行う結束機。1963年にハンドツールを、翌年自動結束機1号機を出荷して以来、国内シェアは80%、納入実績は世界30ヶ国に及び、鉄鋼業界の皆様にも長く愛され続けている機器群です。長年のノウハウを活かし、信頼性の高い機器を提供します。

## バルブ自動開閉器 〈ベストルク〉

手動バルブのハンドルを外して、後付けすることによりバルブを簡単に自動化できる画期的なバルブ開閉器です。エア駆動により防爆地域でも問題なく稼働でき、バルブに限らずジャッキ、ウィンチ、重量扉のロック等回転操作全般にも対応可能です。石油・化学プラント向けなど国内外で23,000台を超える納入実績を誇り、今後は、シェールガスブームの北米にも販売を開始します。

## 表面改質 PHコーティング

「PHコーティング」とは、表面状態の綺麗な窒化とセラミック皮膜を組み合わせた複合処理です。「耐摩耗性、滑り性、耐熱性、耐食性、耐溶着性向上」により金型や機械部品の長寿命化を実現します。最近では、自動車部品に使用されるハイテン材用のプレス金型の採用が増えており、これまでの中国・九州地区以外の東海・関東地区からの採用も拡大傾向にあり、新規顧客も着実に増加しています。

# 銀鏡めっき金属板 〈ミラーコートK〉

ミラーコートKは、当社が世界で初めて金属板への銀鏡めっき処理に成功した、反射率95%以上の高効率反射材です。その高い反射率を活かし、反射材は当社グループ会社の技術により照明用反射笠や自然光採光ダクトに形を変え、現在では事務所ビルや学校、工場に採用されています。今回はご採用いただいたお客様にもご協力いただき、高効率反射笠「SetsuDenミラー」、自然光採光システム「ライトヴォイド」の設置事例をご紹介します。

## ● SetsuDenミラー



ミラーコートKの高い反射率と独自の配光制御設計による高効率反射笠「SetsuDenミラー」は、工場・倉庫の高天井照明において、大幅な節電と照度UPによる作業環境の改善を実現し、お客様から高い評価をいただいています。

### お客様のコメント 日鉄住金物産名古屋コイルセンター株式会社 殿

現行、水銀灯(700W)ノ96箇所の設置を、SetsuDenミラー+セラミックメタルハライドランプ(360W)ノ60箇所に減らして設置しました。工場内は、以前より照度が高まり作業性が向上し、環境面の改善が図れました。コスト面も、ランプサイズ・設置数ともに減らすことができ、消灯率も加味し電力料金の削減が見込まれます。



設置箇所 ← 照度UP! & 電力削減67% → 未設置箇所

### 入居者のコメント

新独身寮にはライトヴォイドという巨大ダクトが建物2ヶ所を上下に貫いており、屋上で採光した太陽光がダクトを通して下層階を明るく照らしてくれます。外からは一見すると分かりませんが、玄関ホールには、建物内にいることを忘れてしまうほど太陽の自然な光が降り注いでいます。

ライトヴォイドの自然な光は、建物内にながら一日の変化や季節の移ろいなどを感じられ、入居者へ自然のリズムを教え、健康に過ごすための手助けをしてくれます。

## ● ライトヴォイド

当社独身寮「鉄心寮」に自然光を積極的に採光し、熱を逃がす吹き抜け「ライトヴォイド」を設置しました。

反射面をパンチング加工することにより、各階の廊下すべてに自然光を届けることを実現しました。

通常の吹き抜けよりも多くの採光が出来る本システムは、これまでに3件の設置事例があり、今後も採用の拡大が期待されます。



# 当中間期のポイント

POINT

- **売上高** 58,990百万円  
(前年同期比 4.3% 増)
- **営業利益** 2,304百万円  
(前年同期比 48.0% 増)
- **経常利益** 2,363百万円  
(前年同期比 44.9% 増)
- **中間純利益** 1,644百万円  
(前年同期比 143.2% 増)

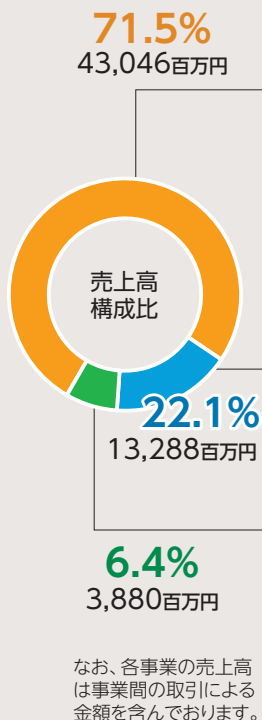
**POINT ①** 鋼板関連事業は減収となるも徹底したコスト削減で大幅な増益。

**POINT ②** 機能材料関連事業は、好調な需要により増収増益。

**POINT ③** その他事業は販売価格の低下などの影響で減収減益。

## セグメント情報

SEGMENT INFORMATION



### 鋼板関連事業

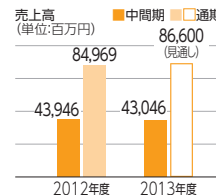


#### 事業内容

缶用材料、電気・電子部品、自動車・産業機械部品、建築・家電向け材料の製造および販売

#### 事業の概況

- 缶用材料は、缶コーヒーの販売不振の影響を受け減少。
- 電気・電子部品向けは、国内と海外ともに販売数量が減少。
- 自動車・産業機械部品向けは、輸出が好調に推移。
- 建築・家電向けはユニットバス内装材や玄関扉材が増加。



### 機能材料関連事業

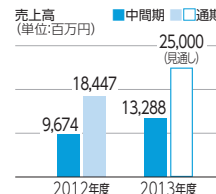


#### 事業内容

磁気ディスク用アルミ基板、光学用機能フィルムの製造および販売

#### 事業の概況

- 磁気ディスク用アルミ基板は好調な需要で販売数量が増加。
- 光学用機能フィルムは、品質優位性を認められ着実に浸透。



### その他事業

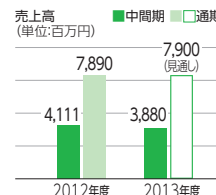


#### 事業内容

梱包資材用帯鋼、機械器具、硬質合金の製造および販売

#### 事業の概況

- 梱包資材用帯鋼は販売価格が低下。
- コイル結束装置などの機械器具は販売数量が減少。
- 硬質合金はプラスチック金型の販売数量が増加。





# 連結財務諸表

# CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENT

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 2013年9月30日現在	前期 2013年3月31日現在
資産の部		
流動資産	69,992	67,390
固定資産	55,850	55,671
有形固定資産	47,107	47,493
無形固定資産	488	491
投資その他の資産	8,254	7,687
<b>① 資産合計</b>	<b>125,843</b>	<b>123,061</b>

科目	当中間期 2013年9月30日現在	前期 2013年3月31日現在
負債の部		
流動負債	35,280	33,468
固定負債	8,862	8,348
<b>② 負債合計</b>	<b>44,143</b>	<b>41,816</b>
純資産の部		
株主資本	81,255	80,013
その他の包括利益累計額	444	△ 201
少数株主持分	-	1,432
<b>③ 純資産合計</b>	<b>81,700</b>	<b>81,244</b>
負債純資産合計	125,843	123,061

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前中間期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前期 2012年4月1日から 2013年3月31日まで
<b>④ 売上高</b>	<b>58,990</b>	<b>56,581</b>	<b>109,112</b>
売上原価	51,247	49,586	95,443
売上総利益	7,742	6,994	13,669
販売費及び一般管理費	5,438	5,437	10,703
営業利益	2,304	1,557	2,966
営業外収益	285	296	755
営業外費用	227	221	422
経常利益	2,363	1,631	3,298
税金等調整前中間(当期)純利益	2,441	1,082	2,896
中間(当期)純利益	1,644	676	1,927

## POINT

### 【資産の部】①

総資産は前期に比べ27億81百万円増加して、1,258億43百万円となりました。このうち流動資産は、たな卸資産は減少したものの、売上債権が増加したこと等により、前期に比べ26億2百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産は減少したものの、保有株式の時価の上昇による投資有価証券の増加等により、前期に比べ1億79百万円増加しました。

### 【負債の部】②

負債は仕入債務の増加等により、前期に比べ23億26百万円増加して441億43百万円となりました。

### 【純資産の部】③

純資産は4億55百万円増加して817億円となりました。これは利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

## POINT

### 【売上高について】④

機能材料関連事業が大幅に増加したことにより、589億90百万円と増収となりました。

～ありたい未来に向けて～

# 東洋鋼鋳グループブランド「TK WORKS」

東洋鋼鋳グループは、  
未来のありたい姿のビジョンを再構築し、基盤強化を図るために、  
本年4月1日より新ブランド「TK WORKS」を展開しています。

創業以来培ってきた知見や技術を原動力としながら、  
革新的な挑戦を通じて世界へ、未来へと飛躍していく——  
東洋鋼鋳グループの決意を様々な場面で表現しています。



下松事業所  
本事務所



ホームページ

徳山駅新幹線下りホーム看板



下松事業所  
開放デー

## TOPICS 当社はお蔭様で来年創立80周年を迎えます

1934年4月11日、民間初のぶりきメーカーとして  
誕生した当社は、お蔭様で来年80周年を迎えます。

ぶりき製造で誕生した会社ですが、歴史を重ねる  
中でその技術を発展させ、非鉄や樹脂などの分野へ  
も活躍の場を広げてきました。

それに伴い、当社シンボルにもまた、変遷を遂げた  
歴史があります。



◀ 昭和9年当時の社章  
輪郭の6角は東洋鋼鋳  
の「東」を、中はロール  
を十字に組み合わせて  
図案化したもの。



◀ 昭和33年9月に設定した  
新社章  
社内公募により選定。円は円満、  
順調を意味し、製品に押捺される  
場合は丸Kと呼ばれることを想定。



◀ 平成25年4月に設定した新ブランドシンボル  
WORKSは製品や技術に加え、“～を目指し努力  
する”という意味を持つ。右上を目指す矢印マー  
クは未来を指す。

◆ 詳しい歴史は当社HPでも紹介しております。

URL: [tkworks.jp](http://tkworks.jp)

# 会社概要／株式の状況

## CORPORATE PROFILE & STOCK INFORMATION

(2013年9月30日現在)

### 会社の概況

商号 東洋鋼鋳株式会社  
本社 東京都千代田区四番町2番地12  
設立 1934年4月11日  
資本金 50億4,000万円  
従業員数 2,166名(連結)  
事業所 本社(東京都)、大阪支店、仙台営業所、名古屋営業所、  
広島営業所、福岡営業所、技術研究所(山口県下松市)、  
下松事業所(山口県下松市)

### 役員

代表取締役社長	田中厚夫	常務執行役員	大谷憲史
取締役専務執行役員	吉武潤一郎	執行役員	浪岡貞之
取締役常務執行役員	宮地正文	執行役員	田辺敏幸
取締役常務執行役員	坂本信夫	執行役員	中野和則
取締役執行役員	隅田博彦	執行役員	藤井孝司
取締役	中井隆夫	執行役員	森賀俊典
常勤監査役	根岸保弘		
監査役	宮本光晴		
監査役	大川邦夫		

### 東洋鋼鋳グループ

#### 国内

鋼鋳商事株式会社  
鋼鋳工業株式会社  
KYテクノロジー株式会社  
東洋パックス株式会社  
共同海運株式会社  
下松運輸株式会社  
東洋パートナー株式会社

#### 海外

TOYO-MEMORY TECHNOLOGY SDN.BHD.(マレーシア)  
上海東洋鋼鋳商貿有限公司(中国)  
湖南東洋利徳材料科技有限公司(中国)  
江蘇東洋鋼鋳新材料科技有限公司(中国)

### 株式の状況

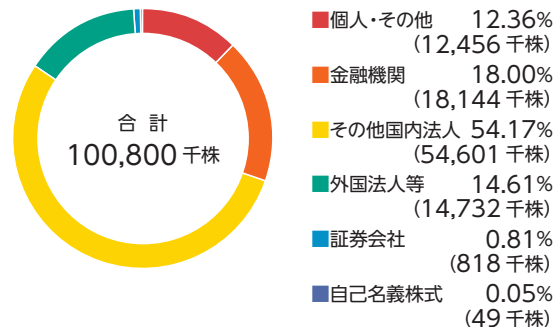
発行可能株式総数 403,200,000株  
発行済株式の総数 100,800,000株  
株主数 3,418名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋製罐グループホールディングス株式会社	47,885	47.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,405	3.38
株式会社三井住友銀行	2,980	2.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,121	2.11
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,110	2.09
公益財団法人 東洋食品研究所	2,055	2.04
株式会社淀川製鋼所	1,429	1.42
株式会社山口銀行	1,316	1.31
新日鐵住金株式会社	1,200	1.19
三井住友海上火災保険株式会社	1,176	1.17

(注) 1. 持株比率は自己株式を除いて計算しております。  
2. 千株未満は切り捨て、小数点以下第3位は四捨五入しております。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネット ホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/ agency/index.html</a>
公告方法	電子公告 公告掲載 URL <a href="http://www.toyokohan.co.jp">http://www.toyokohan.co.jp</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## お問合せ

証券口座で株式を保有している株主さま	住所変更、買取請求その他お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
特別口座で株式を保有している株主さま	住所変更、買取請求その他お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社)にお問合せください。

# 東洋鋼鋳株式会社

〒102-8447 東京都千代田区四番町2番地12  
電話 (03)5211-6211(代表)  
ホームページURL [tkworks.jp](http://tkworks.jp)



本冊子は環境保全のため  
植物油インキで印刷しています。



## ホームページのご案内

### コーポレートサイト



会社のホームページでは、投資家の皆さま向けのIR情報をはじめ、最新のニュースをお知らせする「What's New」、当社の製品を紹介する「身近な東洋鋼鋳」など、さまざまな情報を掲載しております。

[tkworks.jp](http://tkworks.jp)

### IRサイト



IRサイトでは適時開示情報をはじめ、決算短信などの各種IR関連資料やIRトピックス、株価情報など最新の情報を提供しております。

[http://www.toyokohan.co.jp/  
ja/ir/index.html](http://www.toyokohan.co.jp/ja/ir/index.html)